

件 名

埼玉県災害時学校支援チーム（D－E S T 埼玉）について

提出理由

埼玉県災害時学校支援チーム（D－E S T 埼玉）について、別紙のとおり報告します。

概 要

- 1 国（文部科学省）の動き
- 2 埼玉県災害時学校支援チーム（D－E S T 埼玉・令和7年10月設置）の概要
- 3 「令和8年熊本地震」への埼玉県災害時学校支援チーム派遣について

埼玉県災害時学校支援チーム(D-EST埼玉)について

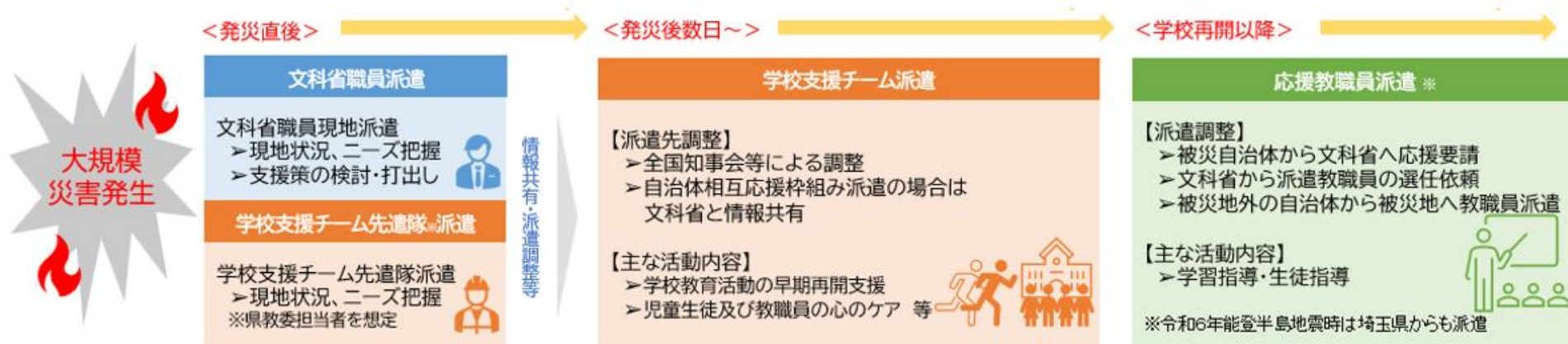
1 国(文部科学省)の動き

令和6年能登半島地震では、学校の校舎やグラウンド等が被害を受け、教職員も被災者となる中、多くの学校で避難所が開設され、学校再開に必要な人員が不足した。

こうした背景の中、国(文部科学省)は、今後の大規模災害に備え、被災地での速やかな学びの確保を図るため、「被災地学び支援派遣等枠組み(D-EST※)」の構築を目指し、都道府県に学校支援チームの設置などを促進している。

※D-EST=「Disaster Education Support Team」の略

<「被災地学び支援派遣等枠組み」(D-EST) イメージ>



2 埼玉県災害時学校支援チーム(D-EST 埼玉・令和7年10月設置)の概要

(1) 目的

県内及び県外において大規模災害が発生した際に、被災地域等からの要請に基づき、被災した学校における教育活動の早期再開に向けた支援のために、埼玉県の教職員等を被災地の学校へ派遣する。

(2) 主な活動内容

大規模災害時	・学校教育活動の早期再開支援(学校環境の復旧整備等) ・児童生徒及び教職員の心のケア ・学校における避難所運営支援(避難所の開設初期段階での運営に対する助言等) 等
平 時	・各地域における防災体制の整備・充実への積極的な協力 ・各所属における防災対策や防災教育の推進



(3) チーム員

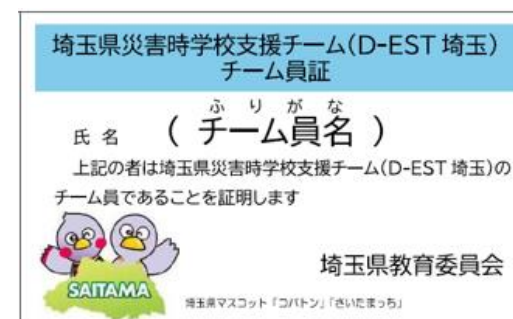
ア 本採用の公立小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員（管理職及び条件付採用期間中の者、短時間勤務職員、さいたま市教職員を除く。）

イ 本採用の埼玉県教育局及び教育機関の職員
（管理職及び条件付採用期間中の者、短時間勤務職員を除く。）

(4) チーム員の養成

大規模災害時の学校運営や災害に対する知識や技術を身に付ける養成研修（3回）の修了者を、チーム員として名簿に登録する。

※チーム員数：67人（令和8年9月1日現在）



< チーム員の推移 >

令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
チーム員 26人	新規チーム員 41人	チーム員継続 募集(30人)	チーム員継続 募集(30人)	チーム員継続 募集(30人)

学校支援チーム
目標150人

(5) 養成研修(令和8年度)の内容

ア 集合研修

・1、2日目(オンライン形式)

基本的な支援の考え方、心のケア基礎知識(災害時の心の変化と支援のポイント)、災害ボランティア基礎知識

・3日目(対面形式)

心のケア演習、被災した学校における教育活動の早期再開に向けた演習

イ 動画研修

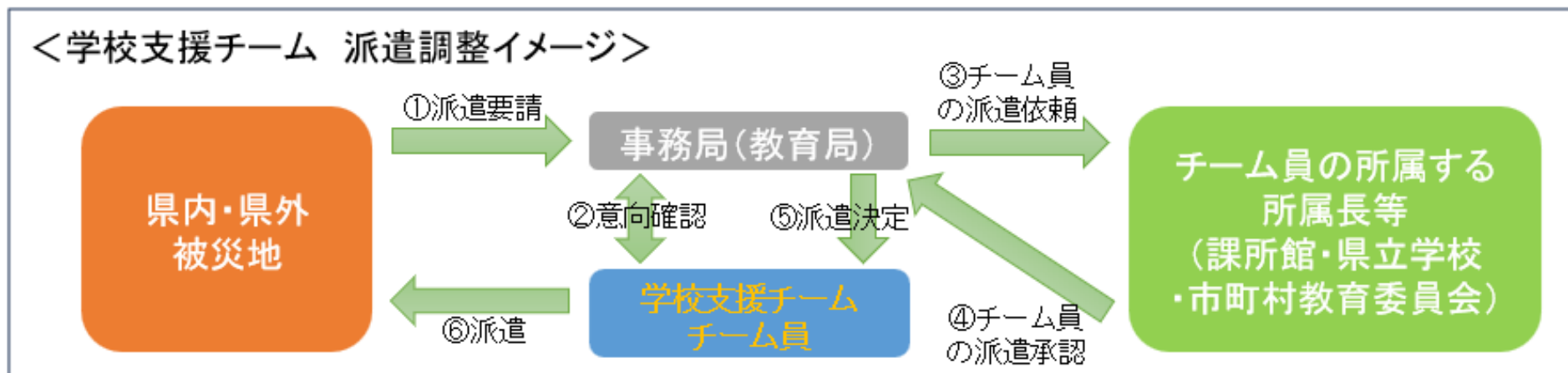
災害の基礎知識、学校教育応急対策、心のケア基礎知識(心理的応急措置)



【集合研修3日目(対面形式):被災した学校における教育活動の早期再開に向けた演習の様子】

(6) 学校支援チーム派遣までの流れ

大規模災害が発生した際、被災地等からの派遣要請に基づき、学校支援チームを派遣する。



【出発式(熊本県美里町へ派遣)の様子】

3 「令和8年熊本地震」への埼玉県災害時学校支援チーム派遣について

文部科学省から、埼玉県災害時学校支援チーム(D-EST 埼玉)に派遣要請があったため、先遣隊を派遣して被災した学校の現状やニーズを把握した上で、支援チームを派遣した。

(1) 先遣隊

ア 派遣期間

8月17日(月)～8月18日(火)

イ 派遣先

熊本県美里町(励徳小学校・砥用中学校)

ウ 派遣職員

教育局職員 2名

エ 派遣内容

被害状況、必要な支援
内容などの情報収集



【Exp.J.c(エキスパンションジョイントカバー)の落下】



【壁のひび割れ】

(2) チーム員派遣

ア 派遣期間

8月26日(水)～8月28日(金)

イ 派遣先

熊本県美里町(励徳小学校・砥用中学校)

ウ 派遣チーム員

教員及び教育局職員 計3名

エ 支援内容

円滑な学校再開に向けた教員への支援など



【励徳小学校及び砥用中学校における支援の様子】